

## 小学校に太陽光発電システムを設置し 子どもたちの環境意識向上に努めています

アサヒビール(株)さま

自然や環境などの保全・保護活動に、対象商品の売上の一部を活用するアサヒスーパードライ『うまい!を明日へ!』プロジェクトを47都道府県で実施しており、東京都では公立小学校への太陽光発電システムの設置を進めています。

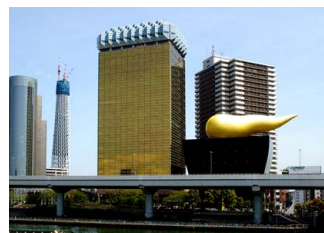


荒川区立第一日暮里小学校さま



日野市立東光寺小学校さま

### ■導入先



アサヒビール(株)さま

- 東京/墨田区
- 1889年創業、1949年設立。国内酒類事業をはじめ、飲料、食品などのグループ事業や国際事業を展開されている。

### ■導入商品

#### 太陽光発電システム

高出力太陽電池モジュール(多結晶) ND-SOL7H  
パワーコンディショナ JH-010KAT

- 太陽電池システムを小学校に設置。2009年度は10kWを6校に、20kWを1校に設置され、今後、2011年度までに合計で21校への設置を予定。

## こんなソリューションを実現しました

### Before

導入前(課題)

1

環境保全活動などへの寄付に際し、都道府県ごとに内容を変え、地域の皆さまに喜んでいただこうと考えました。

2

小学校へ太陽光発電システムを設置することで、子どもたちの環境や省エネへの関心を高めたいと考えていました。

3

太陽光発電システムの設置を決めたときから、設置校への環境出前授業を行いたいと考えていました。

### After

導入後(効果)

1

東京都では、先進性をイメージして太陽光発電システムの小学校への設置を選び、たいへん好評を得ています。

2

子どもたちが学校でも家庭でも省エネを心掛け、物を大切にするようになったと、設置校から喜びの声を頂戴しています。

3

「森と太陽の教室」をすでに3校で実施して、子どもたちの環境意識を高め、太陽光発電への理解も深めており、今後も順次開催します。

## ■インタビュー



アサヒビール(株)  
首都圏統括本部 営業企画部  
担当部長 相下 暢浩さま

## 都内の公立小学校に 太陽光発電システムを寄贈しています。

対象商品の売上の一部を、都道府県ごとに設定した環境保全などの活動に寄付するアサヒスーパードライ『うまい!を明日へ!』プロジェクトの一環で、東京都では公立小学校に太陽光発電システムを設置しています。

都では「緑の東京募金」などの活動がすでにあり、それとは異なる新しい活動で、なおかつ東京らしい先進的な取り組みをコンセプトに寄付金の活用方法を検討した結果、社会的関心が急速に高まってきている太陽光発電の小学校への設置という結論に至りました。

## より多くの小学校に太陽光パネルを届けたい。

資源エネルギー庁管轄の新エネルギー導入促進協議会の助成制度を活用しながら、より広いエリアの、より多くの小学校に太陽光パネルを届けたいと考え、10kWのシステムを基本に設置しています。2009年春のプロジェクト第1弾で3校、秋の第2弾で4校に設置しており、2010年春に第3弾を実施し、今後も設置を進めていきます。

設置校では校舎入口などのよく目立つ場所に、発電量を表示するモニターも設置し、子どもたちに毎日の発電量を見もらうことで、太陽光発電への関心が高まっています。

## 「子どもたちの意識が変わった」と 各校から喜びの声が続々と上がっています。

子どもたちが昼休みに電気を消すようになったり、家に帰っても電気を節約する、物を大切にするなど、とても良い影響が出ていると各校から喜びの声が届いています。また、子どもたちからアサヒビールさんにお礼がしたいと、朝礼にお招きいただく学校もあり、心が洗われるような感激を覚えました。

本プロジェクトは、今後、2011年秋までの実施を予定しており、トータルで21校に設置する予定となっています。これからも少しでも多くの子どもたちの笑顔が見たいですね。



小学校に設置された太陽光発電システム  
(墨田区立第二寺島小学校)



(調布市立布田小学校) (武蔵野市立桜野小学校)

子どもたちがモニターで毎日の発電量をチェック。  
環境意識の向上に貢献



社会環境推進部長  
理事 竹田 義信さま

## 出前学習「森と太陽の教室」を開催し、 子どもたちの関心と理解を深めています。

ただパネルやモニターを設置しただけでは子どもたちはその意味がわからないので、小学校への導入を決めたときから、環境をテーマにした出前授業を計画していました。一方、シャープでも小学校環境教育を実施されていることを知り、これを縁として、共同で「森と太陽の教室」を順次開催しています。

地球温暖化の話に始まり、森林保全の必要性、太陽光発電の仕組みなど、楽しく授業することで、環境問題や太陽光発電への子どもたちの関心や理解が深まります。省エネ意識を変える大きな原動力にもなり、各校からたいへん好評をいただいております。今後も継続して開催していく予定です。



「森と太陽の教室」をシャープと共同で実施中



酒類本部 マーケティング本部 ビールRTD部  
チーフプロデューサー  
杉浦 克典さま

## 自然や環境の保護・保全のため 売上の一部を地域社会へ還元しています。

アサヒスーパードライ『うまい!を明日へ!』プロジェクトでは、期間中、対象商品の売上の一部を、47都道府県ごとに設定した、自然や環境、文化財などの保護・保全活動に活用しています。

例えば、北海道ではラムサール条約登録湿地の保全、滋賀県では琵琶湖の保全、京都府では文化財の保全活動など、地域の皆さまに喜んでいただける活動を、自治体や地元NPOと連携して行っています。この点が高く評価され、第19回「地球環境大賞」において「地球環境会議が選ぶ優秀企業賞」を受賞しました。



アサヒスーパードライ  
『うまい!を明日へ!』  
プロジェクト